

「複式学級」について

「複式学級」とは…

- ☑ 在籍児童が2学年合計15名以下の学級（1年生児童を含む場合は8名以下）
- ☑ 2学年で1学級編制とし、一人の学級担任が2学年を同時に指導する

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数によりきめ細かな指導ができる ・児童生徒相互の人間関係が密になる ・異学年集団で相互の学び合いができる ・個別の活動や主体的活動の場が多くなる ・少人数（集団規模が小さい）のため、けんかやいじめが生じにくい ・学校行事では、一人一人の個別の活動機会が多くなる ・保護者間の連携がとりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指導が2学年に分散する ・多様な学習、指導形態が取りにくい（グループ学習等） ・社会性、集団性、切磋琢磨の機会が少ない ・運動会などの集団的な学校行事で、種目等の制約が生じる ・人間関係や相互の評価等が固定化される ・PTA活動における保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい

本日のキーワード

わたり…複式の学習指導において、一人の教師が2つの学年の学習を成立させるために、両方の学年を交互に移動して指導を行う教師の動き。

ずらし…2つの学年の直接指導の過程が重ならないように、指導過程をずらして組み合わせること。

中津川市立川上小学校について

◆児童数と学級数

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
児童数	6	6	6	2	8	4
学級数	1	1		1		1

・2、3年生と4、5年生が複式学級。6学年あるが、学級数は4となる。

◆授業の割り振り

- ・2つの学年の授業を1人の教師だけで実施することを、基本的には避けている。2つの学年を2人の教師でみる（team teaching）か、学年2つのうち1つを学級担任以外が受け持ち別の教室で学習するか。